

2019年5月31日

過去に、香川大学医学部附属病院の循環器内科に通院・入院された患者さん、および香川県内の介護保健施設・各種老人福祉施設（観音寺ケアセンター、特別養護老人ホームアイムの杜、ケアハウスあいむ、グループホームあいむ、ナーシングホームあいむ）に入所されていた患者さんへ

## （臨床研究に関する情報）

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られる検査結果などの診療情報を用いて行います。このような研究は、厚生労働省・文部科学省の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」（平成26年12月22日制定、平成29年2月28日一部改正。文部科学省・厚生労働省告示第3号）の規定により、研究内容の情報を公開し、研究対象となる方等が拒否できる機会を保障することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせ、拒否される場合などがありましたら、以下の連絡先・相談窓口へご照会ください。診療情報の利用を拒否された場合も不利益を受けることはありません。また、この研究については、香川大学医学部倫理委員会の審議にもとづく医学部長の許可を得ています。

[研究課題名] 血圧脈波波形から心房細動検出を可能にする人工知能解析プログラムの新規開発

[研究機関の長] 香川大学医学部長

[研究責任者名・所属] 循環器・腎臓・脳卒中内科学 教授 南野 哲男

[研究の目的]

心房細動は適切な治療を行わなければ心不全や脳梗塞を起し得る病気です。心房細動に罹患する患者さんの中には、自覚症状に乏しい方がいます。そのような患者さんでも、自動血圧計の測定を行った際に心房細動が生じているかどうかを判定することができれば、早めに適切な治療を受けることが可能となります。本研究は、自動血圧計から得られる血圧脈波波形に対して人工知能技術を利用した解析を行うことで、自動血圧計測定時に心房細動の検出が可能となるようなプログラムを新たに開発することを目的とします。

[研究の方法]

○対象となる患者さん

平成29年5月1日から12月31日までの間に、香川大学医学部附属病院の循環器内科に通院・入院された患者さん、および香川県内の介護保健施設・各種老人福祉施設（観音寺ケアセンター、特別養護老人ホームアイムの杜、ケアハウスあいむ、グループホームあいむ、ナーシングホームあいむ）に入所されていた患者さんのうち、臨床研究「自動血圧計付帯不規則脈波検出機能による心房細動検出法の最適化」への参加に同意を頂いた患者

○利用する検体・診療情報

診療情報：年齢、性別、身長、体重、モニター心電図波形、血圧脈波波形

[研究組織]

研究責任者 香川大学医学部 循環器・腎臓・脳卒中内科学 教授 南野 哲男

研究分担者 香川大学医学部 循環器・腎臓・脳卒中内科学 学内講師 石澤 真

この研究について、研究計画や関係する資料、ご自身に関する情報をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。

研究に利用する患者さんの個人情報に関しては、お名前、住所など、患者さん個人を特定できる情報は削除して管理いたします。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

[連絡先・相談窓口]

香川県木田郡三木町池戸 1750-1

香川大学医学部 循環器・腎臓・脳卒中内科学 教授 南野 哲男

香川大学医学部 循環器・腎臓・脳卒中内科学 学内講師 石澤 真

電話 087-891-2150 FAX 087-891-2152